

## 個別ワーキングについて(事前アンケート結果)

アンケート結果 賛成 40 / 反対 7 / 回答無し 5

## 【アンケートで提出された、具体的なWGイメージ】

- 森林環境譲与税 連携拡大WG
- 雨水貯留施設 推進WG
- ダム事前放流WG
- 各鉄道事業者に関係する沿線自治体を集約したWG

## 【その他意見】

- 県土整備事務所管内程度の地域単位別で集まる方が、意見が出しやすいのでは。
- 小規模単位にしてもこれまでの会議形式では意見は出づらい。
- 作業部会のような形式のほうが小さな声も拾える。
- 協議会が多いため、まずは既存協議会の統廃合をするなどして欲しい。
- 全体自治体ではなく、代表市によるプロジェクトチームにして欲しい。

・まずは、日常から顔を合わせる機会の多い市町村で集まることによって  
活発な意見交換を開始

# 個別ワーキングの組織について

- 県土整備事務所管内程度の地域単位別で開催。
- 実務担当者レベルとし、活発な意見・情報交換を実施。

## 【建て付け】

流域治水協議会



流域治水協議会幹事会

- ・協議会の運営に必要な情報交換、調査、分析、流域治水等の各種検討、調整

議論に応じ、報告  
追加メンバ募集等



メンバ調整し、  
案件毎WGに組み替え

## WG(案)

6, 7月予定

さいたま + 越谷 県土管内WG

川越 県土管内WG

8, 9月予定

東松山 県土管内WG

朝霞 県土管内WG



10, 11月予定

北本 + 杉戸 県土管内WG

熊谷 + 行田 + 本庄 県土管内WG

開催済

飯能 県土管内WG

秩父 県土管内WG

・構成員の少ないWGについては、隣接するWGと合併する。

# これまでの個別ワーキングについて

## 【個別ワーキング内容】

### 1. 流域治水について

荒川上流河川事務所より流域治水の考え方及び国で実施している取組について説明

### 2. 意見交換

これまで流域治水の取組を実施してみて感じた課題（自治体内の横の繋がり、国の支援制度の使い勝手）、流域治水の取組で実施してみたいこと、各自治体のトレンド（首長の興味・関心）

## 【個別ワーキングで出た意見】

- 流域治水に対する考え方を勘違いしていた。今回のような勉強会を実施し、周知していただきたい。
- 役所内で、課をまたいだ関係者間での連携を進めていく必要性が分かった。
- 誰に相談すればよいか分からなかった悩みが解決できた。
- 大きな河川がないため、流域治水の考えがなかった。
- 流域治水の窓口は河川だが、色々な課が関わってくる。下水道組合や水道企業団などとのやりとりが複雑で大変である。
- 総合治水の目標値に関して、目標値がなかなか達成できていない。
- （自分たちでも国の河川改修と合わせて）内水氾濫解消のため地下浸透施設の整備を推進していく。
- 校庭貯留は、学校の統廃合と合わせて実施するので、なかなか進まない状況。
- 普通河川と水路がほとんどであるため、河川に関する広域的な計画がないうえ補助金の制度にかからない。

## 【事務局からのお願い】

首長が課をまたいだ連携を後押ししないと、取組の推進は難しいため  
今後、首長への説明を進めていきたい。